



### 写真コンテスト作品募集

テーマ：世界遺産暫定一覧表に登録された「国指定史跡原城跡」で開催する第19回原城一揆まつりのさまざまな行事の中で、記憶の中に残しておきたい原城跡の風景や情景を題材とする。

#### ▼応募規定

- ①応募数に制限はありませんが、未発表のものに限ります。
  - ②カラープリントは6切以上4切（ワイド4切）まで。デジタル作品も同サイズのプリントとします。
  - ③タイトル、住所、氏名、年齢、職業、連絡先、コメントなどを明記した自作の応募票を作成の上、写真裏面に貼付して応募してください。
  - ④入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
  - ⑤入賞者はネガフィルム、ポジフィルム、データファイルを必ず提出してください。
  - ⑥応募作品は返却いたしません。
  - ⑦出品料は無料です。
- ・応募締切/平成22年4月30日  
・賞/最優秀賞(1点)賞金2万円  
優秀賞(2点)賞金1万円  
入選(5点)賞金5千円

### 昼の部 12:00~16:00



- ◆オープニング
- ◆ひょっとこ踊り(若木保育園)
- ◆よさこい(大江保育所)
- ◆嘉穂町演舞
- ◆芦北鉄砲隊実演
- ◆落城の賦(南有馬中学校)
- ◆一揆サミットクイズ
- ◆ロ加高校吹奏楽部演奏
- ◆ゴスペル
- ◆「RIKA」コンサート
- ◆一夜城もちまき

### 夜の部 19:00~21:00



- ◆追悼行列
- ◆追悼祭
- ◆キャンドルコンテスト表彰式
- ◆夜なべ談義

# 原城一揆まつり

3万5千個の追悼キャンドルが原城の夜を幻想的に...



日時 平成22年 4月10日(土)  
会場 原城本丸および周辺

主催/原城一揆まつり実行委員会 後援/南島原市  
お問い合わせ/原城一揆まつり事務局 ☎0957(85)2160  
企画振興部 企画振興課 ☎050(3381)5030 または南有馬支所 ☎050(3381)5170

## がんばっています!! 南島原市商工会

### 観光ガイドプログラム

# しまばら巡礼

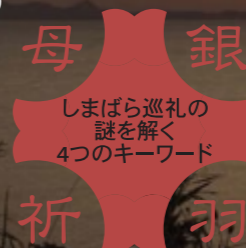
4つのキーワードの謎を解き、歴史ドラマを体感

先月もお伝えした「おいち自慢プロジェクト」のもう一つのプロジェクト「しまばら巡礼」。今回は、歴史を語る「しまばら巡礼」の概要をお伝えします。  
「天草島原の乱は、なぜこの地『南島原』で起きたのか、という疑問。その答えを伝えたい。それがこの企画のスタートでした」と話すのは、市商工会の戸島雄一郎さん。  
しまばら巡礼は、観光タクシード、ガイドの会、観光協会、商工会が協力して行う「観光商品」です。  
「これまで観光でお越しの方は、タクシー、ガイド、

### 新たな歴史ドラマを体感する南島原の三時間

#### ●口之津発着コース(約3時間コース)

- ①口之津港
- ②南蛮船来航の地
- ③有馬のセミナリヨ跡
- ④日野江城跡
- ⑤原城跡



#### ●お問い合わせ

南島原ひまわり観光協会 TEL.0957(76)1800 URL. <http://himawari-kankou.jp/>  
南島原市商工会 TEL.0957(76)1500 URL. <http://www.msshoko.com/>



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

## 宝くじ ふるさとワクワク劇場 in南島原

チケット発売開始 4月18日

※4月18日は「ありえコレジヨホール」のみの販売になります。

入場料 前売券 全席指定 2,000円(当日2,500円)

※宝くじの助成による特別料金です。  
※前売券が完売の場合には、当日券の販売はありません。

#### 販売所

- ・教育委員会生涯学習課 月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝日除く)
- ・ありえコレジヨホール 月曜日～日曜日 9:00～20:00

6月6日(日) ありえコレジヨホール

開場：午後1時30分 開演：午後2時

第1部 お笑いオンステージ

第2部 トーク「ふるさと、わが町あの一と・このひと」

第3部 ほのほのコメディ劇場

オール阪神・巨人 大木こだまびびき 笑福亭仁鶴

〒859-2412 南島原市南有馬町乙1023番地 Eメール [gakushuu@city.minamishimabara.lg.jp](mailto:gakushuu@city.minamishimabara.lg.jp)

◆主催：南島原市、南島原市教育委員会、長崎県、財団法人自治総合センター



陳さんの 毎月、国際交流員の陳凌弘さんが中国の言葉を紹介!!  
中国の言葉で「ごあいさつ」

シェーシェー サイワン  
「皆さん、謝謝!再見!」  
(ありがとう・さようなら)

この文を書いているうちに、ふっと「ああ、最後だ」と気づき、寂しくなりました。

この1年、皆さんのおかげで、充実した日々を過ごすことができました。この1年間、計22回の中国語・文化講座や、4つの小学校への交流訪問、戸ノ隅滝まつりなどの地域イベントに参加したことなど、映画のワンシーンのように、一つひとつ心に焼き付いています。

初めてのそうめん流し、旅行雑誌の撮影や水餃子作りなど初体験もいっぱい。日本の文化や歴史に触

れ、日本について深く考える機会であったと同時に、祖国中国のことをしっかりと考え、知る良い機会となりました。日本に、その中でも南島原市に来てよかった、皆さんに出会えてよかった、そう思います。

中国では、「さようなら」とは言いませんし、今は、私も言いたくありません。再会のチャンスを心から祈り、中国式に「再見」。-再び会いましょう-という言葉で私の気持ちを贈ります。

異国から訪れた私を支えていただいた皆さん、謝謝!そして、再見!